

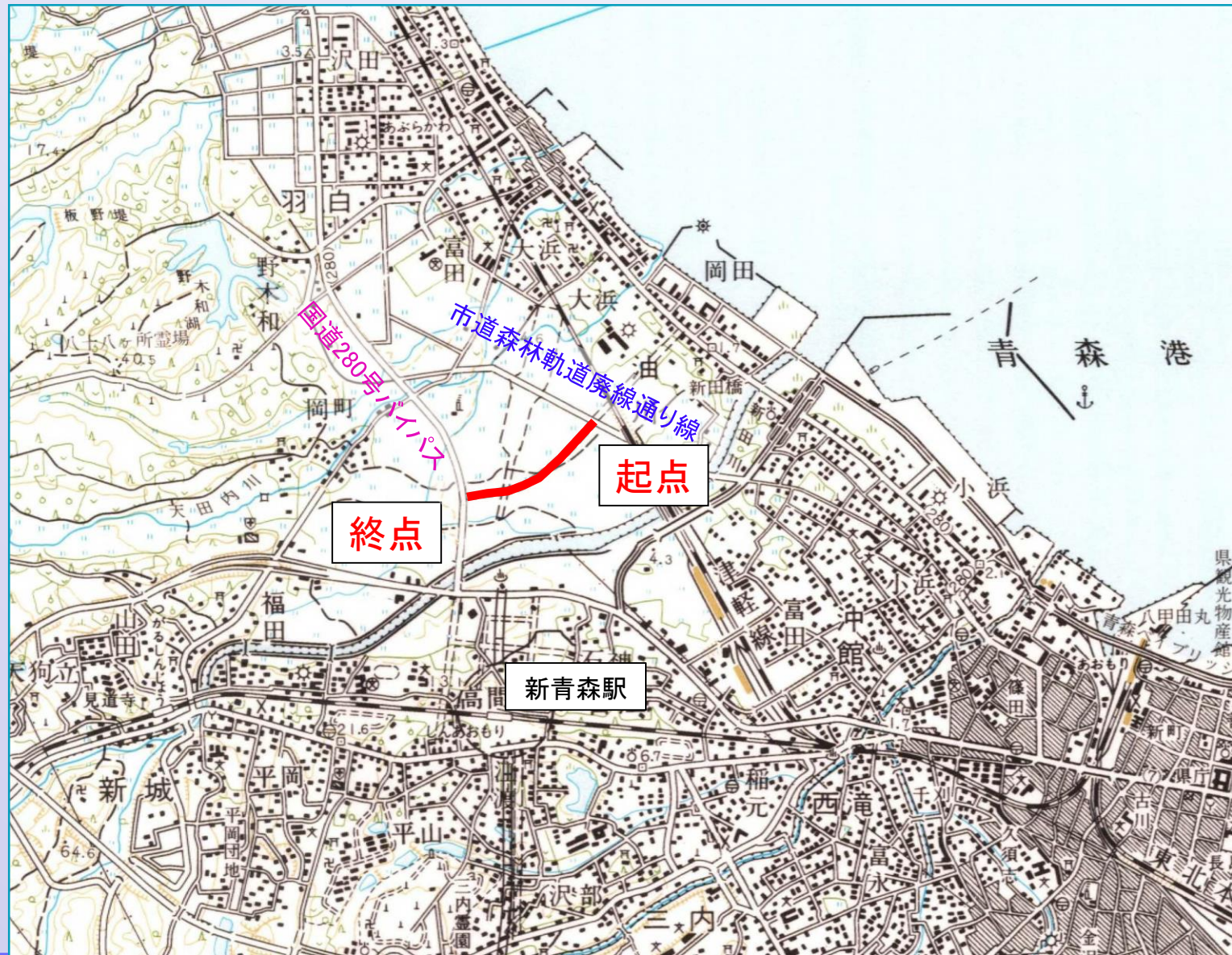
令和2年度 青森市社会資本整備評価委員会

# 油川新城線道路整備事業 資料

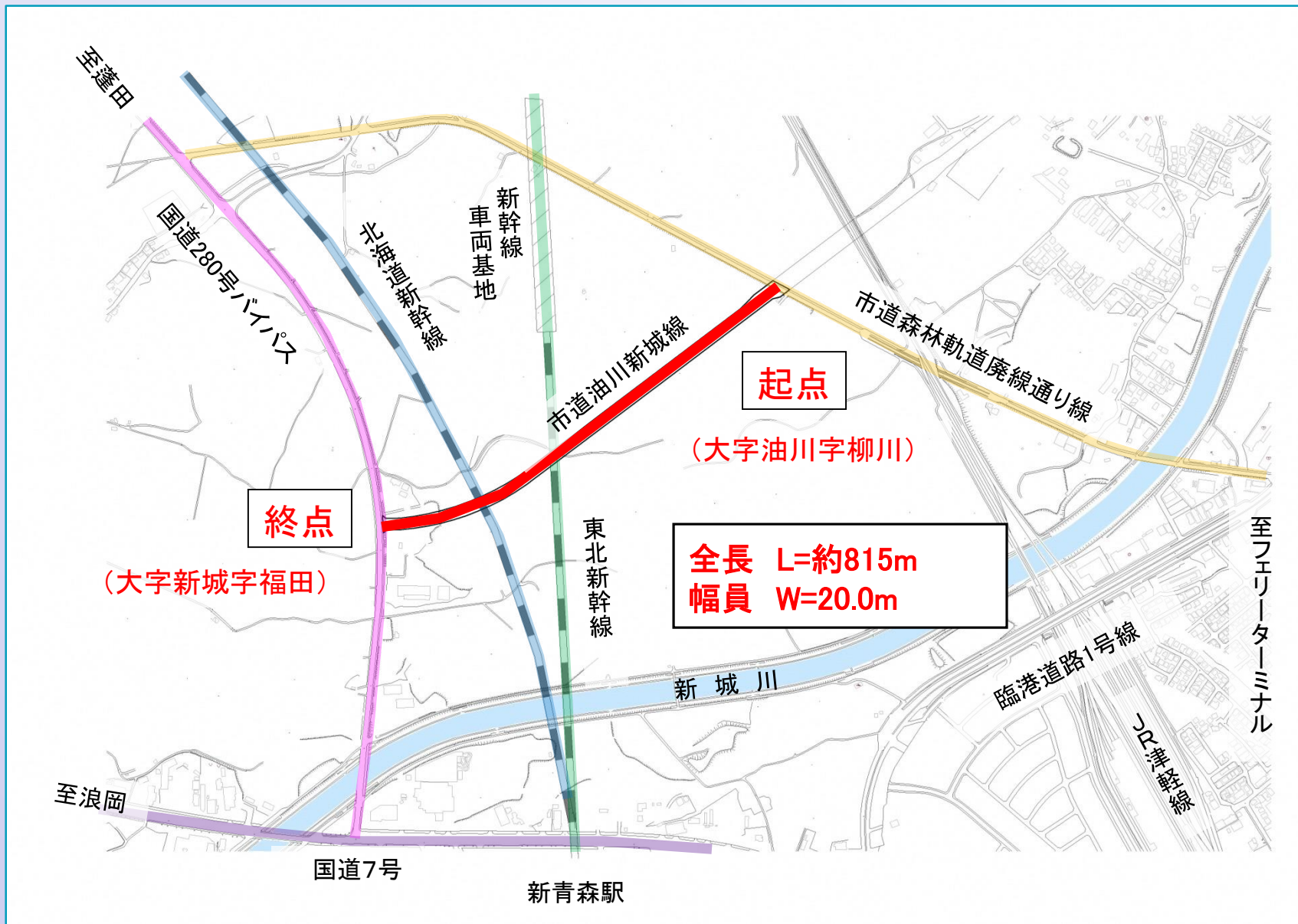
令和2年11月

青森市都市整備部 道路建設課

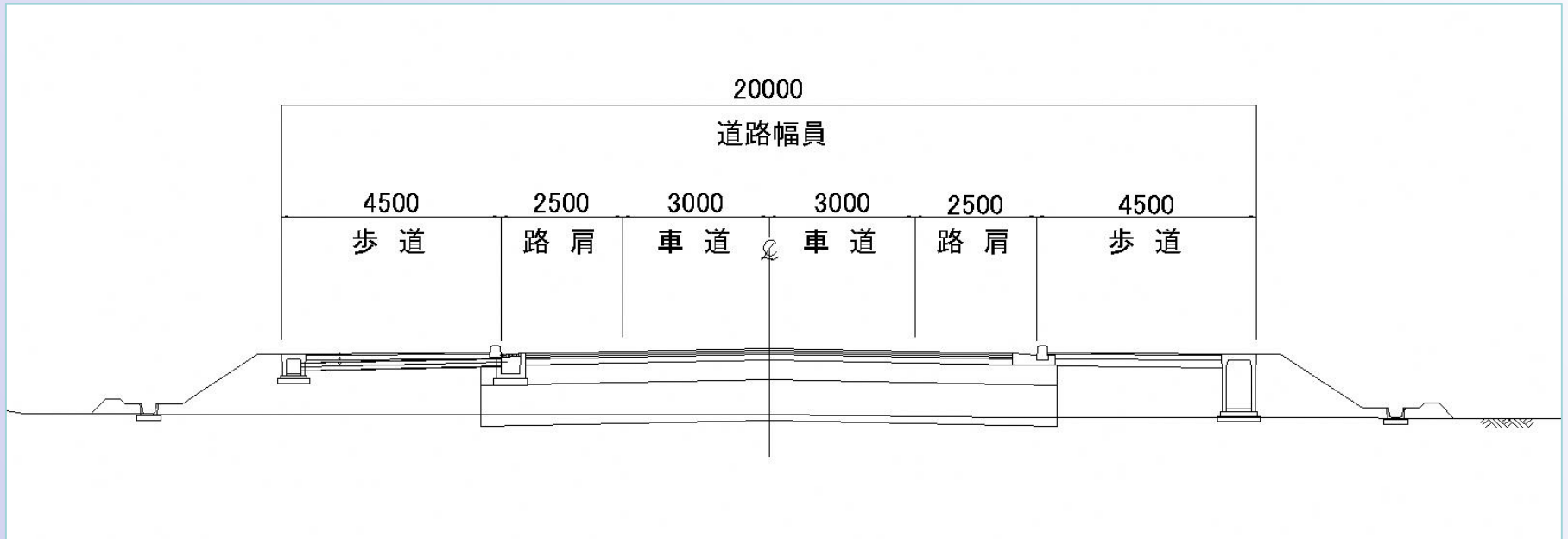
# 位置図



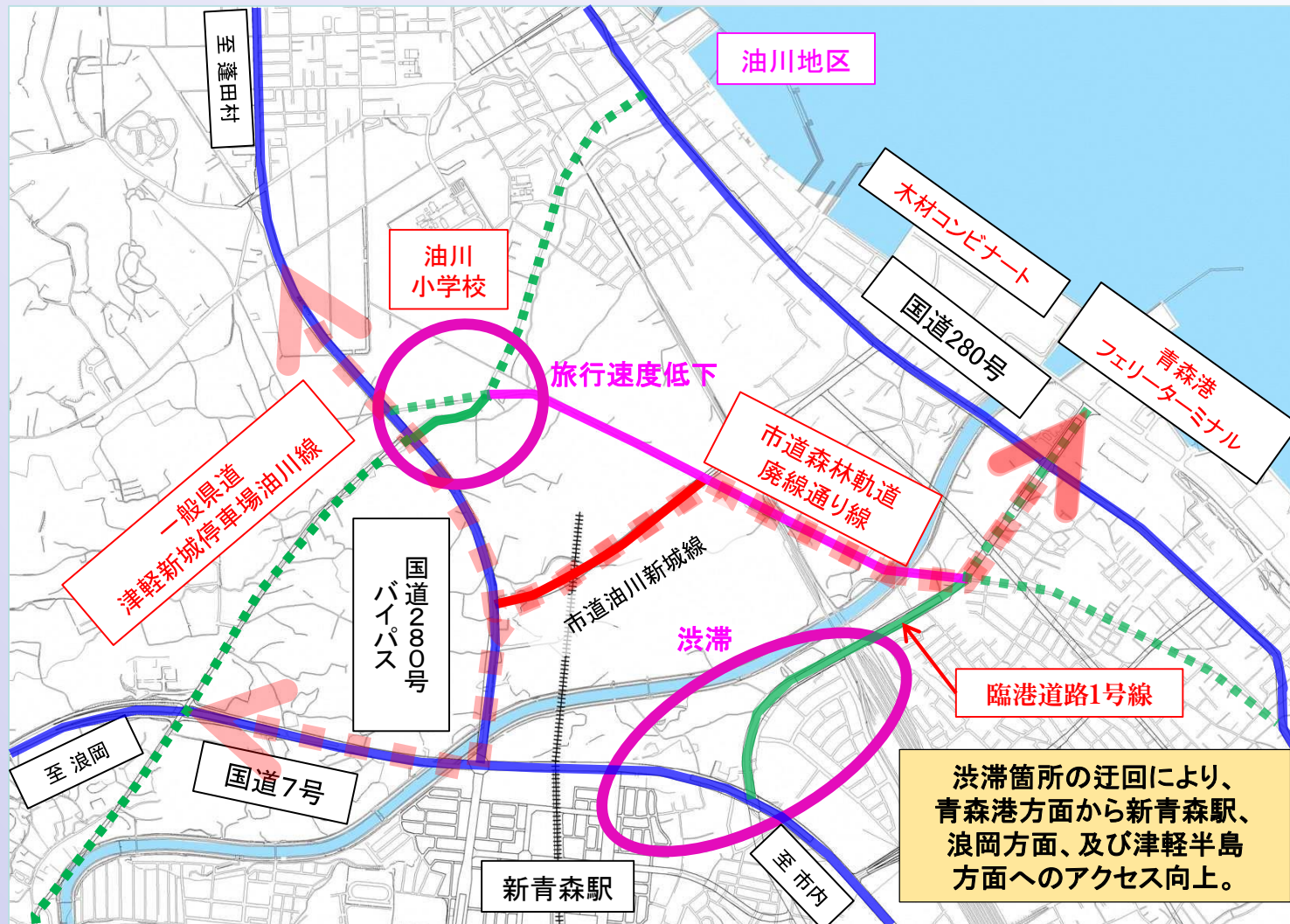
# 平面図



# 標準横断図



# 事業目的



- ①交通の分散による渋滞の緩和
- ②旅行速度の改善によるアクセス向上

## これまでの整備状況



|           |   |
|-----------|---|
| 平成13年度    | 事業着手・調査、測量、詳細設計   |
| 平成14年度～   | 用地買収開始  |
| 平成18,19年度 | 東北新幹線交差部施工(協定負担委託工事 鉄道運輸機構による施工)<br>全体工事費:3.4億円 青森市負担額:約1.6億円 |
| 平成22年度～   | 建物補償開始 建物補償2件   |
| 平成24年度    | 用地境界杭設置測量   |
| 平成27年度    | 用地買収完了<br>取得面積約22,292㎡ 用地費約4.14億円                             |
| 平成29年度～   | 本工事開始   |

# 東北新幹線高架交差箇所



# 工事着手済箇所



東北新幹線高架



## 費用便益比の算出結果について

### • 費用便益比 (B/C)

$$\begin{aligned} \text{費用便益比(B/C)の算出} &= \frac{\text{年間便益原価の合計}^{\ast 1}}{\text{建設投資額} + \text{維持管理費}} \\ &= \frac{691\text{百万円}}{1454\text{百万円} + 10\text{百万円}} = 0.472 \end{aligned}$$

※1 走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益を  
現在価値に換算したものの合計

### • 修正費用便益比 (B/C \* α)

$$\begin{aligned} \text{費用便益比(B/C)の算出} &= \frac{\text{年間便益原価の合計}^{\ast 1} \times \text{地方生活圏別地域修正係数}^{\ast 2}}{\text{建設投資額} + \text{維持管理費}} \\ &= \frac{691\text{百万円} \times 1.429}{1,454\text{百万円} + 10\text{百万円}} = 0.674 \end{aligned}$$

※1 走行時間短縮便益 + 走行経費減少便益 + 交通事故減少便益  
を現在価値に換算したものの合計

※2 地域修正係数 α は 1.429 (青森地方生活圏) を参考

## 残事業の投資効率性について

- 事業継続の場合の費用便益比 (B/C)

$$\begin{aligned} \text{費用便益比(B/C)の算出} &= \frac{\text{事業継続の場合の合計便益}}{\text{事業継続の場合の合計費用} - \text{事業中止の場合の合計費用}} \\ &= \frac{691\text{百万円}}{334\text{百万円}} = 2.069 \end{aligned}$$

- 事業中止の場合の費用便益比 (B/C)

$$\begin{aligned} \text{費用便益比(B/C)の算出} &= \frac{\text{事業中止の場合の合計便益}}{\text{事業継続の場合の合計費用} - \text{事業中止の場合の合計費用}} \\ &= \frac{0\text{百万円}}{334\text{百万円}} = 0.000 \end{aligned}$$

